

4歳〜小4"和"学ぶ

新日本
舞踊

「胡蝶流」子ども舞踊教室

良区
飯倉

「明るく礼儀正しく」目標に

日本舞踊の良き伝統を生かしつつ、より現代的に、親しみやすくした「新日本舞踊」。その新しさが支持され、大きく発展してきた。福岡にも舞踊を通して「和の心」を学んでいる子どもたちがいると聞き、新日本舞踊「胡蝶流」（早良区飯倉 胡蝶蘭恵家元）の「子ども舞踊教室」を訪ねた。

胡蝶流は昨年、20周年（2）で行われている。もに歩んできた日本の伝を迎えた。「積極的に、明対象は4歳〜小学4年生。統文化。習い事としてはるく礼儀正しい子ども 5年生以上は6月から、敷居が高いと感じる人もに」との願いから、家元「子ども舞踊団踊り子隊 SAKURA」で本格的が子どもの指導に力を入 SA K U R A」で本格的に活動を開始した。指導に活動を開始した。指導 稽古は毎月3回で、土は、家元と胡蝶流師範の 曜日午後0時半から飯倉 胡蝶蘭月・飛昇会会主。 会館（早良区飯倉2・13 日本舞踊は歌舞伎と



胡蝶蘭恵家元



胡蝶蘭月師範

胡蝶流も、古典舞踊をベースに日本舞踊の作法や仕草を取り入れ、全曲家元オリジナルの振り付けに合わせた稽古では『九州まつり唄』に合わせて稽古

九州まつり唄』に合わせて稽古



始めました。楽しいです。母親の由紀さん（中央区長浜1丁目）は「自分のほうがついていけないですよ」。6歳の越智真弓ちゃんも「好き。おうちでも練習しています」。

扇子の持ち方にも「つまみ持ち」「くつろぎ持ち」「平持ち」「握り持ち」などがあり、家元は「ひとつずつレベルアップしていくと、踊りの幅が広がります」と話す。

この日、合同の稽古に参加した SAKURA の濱口倅歩さん（博多小5年）は「お母さんがホームページで調べて、家元の踊りを見て習いたいと思いました。とても楽しい。将来は踊りの先生になりたい」と目を輝かせがって「いいいんで」と話していた。



東日本チャリティー公演・20周年記念「胡蝶の舞」（昨年6月・佐賀市文化会館）

歩きの基本を稽古



男立ちの基本を指導する家元。多区大博町には「先生の踊りに惚れ込みました」。男踊りの「武田節」に苦戦中の倅歩さんに、蘭ルkocholankai@ezweb.ne.jp △ホームページ http://kochomai.com/